

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 23 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県大船渡市立根町字細野23-3

氏 名 株式会社アトラス
代表取締役 佐々木高德

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0192-27-1286

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社アトラス
事業場の所在地	岩手県大船渡市立根町字細野23-3
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業（とび・土工工事業）（解体工事業） ・ 産業廃棄物処理業
② 事業の規模	前年度売上高 444百万円
③ 従業員数	27名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①木くず→自社処理(破碎)→再資源化 ②委託処理 ②がれき類(コンガラ・アスガラ)→①自社処理(破碎)→再資源化 ②委託処理 ③廃プラスチック→①自社処理(破碎・圧縮梱包)→委託処理 ②委託処理 ④金属くず→自社処理(切断圧縮→再資源化) ⑤廃石膏ボード→委託処理(管理型埋立) ⑥ガラス陶磁器くず→委託処理(管理型埋立) ⑦繊維くず→委託処理(中間処理) ⑧燃殻→委託処理(管理型埋立) ⑨がれき類→委託処理(管理型埋立)(安定型埋立) ⑩石綿含有産業廃棄物→委託処理(管理型埋立)(安定型埋立) ⑪水銀使用製品産業廃棄物→委託処理(中間処理)

（日本産業規格 A列4番）



(産業廃棄物の種類: 全体)

数値は、
上段: 前年度実績値

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量	t
②	-----

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
③	-----

排出量	t
①	1,776,980
	1,399,400

自ら中間処理した後 再生利用する量	t
⑧	-----

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	t
⑫	-----

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
⑨	-----

自ら中間処理した 後の残さ	t
⑥	-----

自ら中間処理 する量	t
④	1,449,822
	1,216,400

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t
⑬	-----

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	t
⑩	327,158
	0,000

自ら中間処理によ り減量した量	t
⑦	-----

④のうち熱回収 を行う量	t
⑤	-----

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t
⑭	-----

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	t
⑪	-----

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	1,776,980 1,399,400
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	327,158 0,000
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック）

数値は、
上段：前年度実績

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接
再生利用する量
t

⑧ 自ら中間処理した後
再生利用する量
t

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

排出量
① 22.784
16.000 t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑦ t

⑨ 自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ
t

④ 自ら中間処理
する量
21.670
16.000 t

⑬のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量
t

⑤ ④のうち熱回収
を行う量
t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量
⑩ 1.114
0.000 t

⑭のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	22.784 16.000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	1.114 0.000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

(産業廃棄物の種類

木くず

数値は、
上段:前年度実績

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接
再生利用する量
t

③ 自ら中間処理した後
再生利用する量
t

排出量
① 374.851 t
300.000

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

⑭のうち再生利用
業者への処理委託量
⑭ t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	374.851 t 300.000
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	13.119 t 0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

④ 自ら中間処理
する量
361.732 t
300.000

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ
t

⑨ 自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑩ t

⑤ ④のうち熱回収
を行う量
t

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量
t

⑩ 直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量
13.119 t
0.000

⑭のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ t

数値は、
上段：前年度実績
組織くず

(産業廃棄物の種類

有償物量

不要物等発生量

排出量	
①	t
47,340	
25,000	

自ら直接 再生利用する量	
②	t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	47,340 25,000
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	47,340 25,000
⑩優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量	
④	t

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑨	t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
⑭	t

自ら中間処理によ り減量した量	
⑦	t

④のうち熱回収 を行う量	
⑤	t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	t
47,340	
25,000	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	t

数値は、
上段：前年度実績
(産業廃棄物の種類
金属くず)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量
②
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
t

排出量
①
1,840
0,400
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	1,840 0,400 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	0,220 0,000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者 への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量
④
1,620
0,400
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
0,220
0,000
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
t

(産業廃棄物の種類

廃石膏ボード

)

数値は、
上段:前年度実績

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接
再生利用する量
t

③ 自ら中間処理した後
再生利用する量
t

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

排出量
① 96,620
60,000 t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	96,620 60,000 t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	96,620 60,000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

④ 自ら中間処理
する量
t

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ
t

⑨ 自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑰ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量
t

⑤ ④のうち熱回収
を行う量
t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量
⑩ 96,620
60,000 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ t

(産業廃棄物の種類

ガラス陶磁器くず

)

数値は、
上段：前年度実績

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量	t
②	

自ら中間処理した後 再生利用する量	t
⑧	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
③	

排出量	t
①	82,320 60,000

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	82,320 60,000
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	82,320 60,000
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量	t
④	

自ら中間処理した 後の残さ	t
⑥	

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
⑨	

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	t
⑫	

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t
⑬	

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t
⑭	

自ら中間処理によ り減量した量	t
⑦	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	t
⑩	82,320 60,000

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	t
⑪	

数値は、
上段:前年度実績
(産業廃棄物の種類
コンクリートがら)

有償物量

不要物等発生量

②
自ら直接
再生利用する量
t

⑧
自ら中間処理した後
再生利用する量
t

排出量
①
1,090,980
900,000 t

③
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	1,090,980 900,000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	26,180 0,000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

④
自ら中間処理
する量
1,064,800
900,000 t

⑥
自ら中間処理した
後の残さ
t

⑨
自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量
t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫
t

⑤
④のうち熱回収
を行う量
t

⑦
自ら中間処理によ
り減量した量
t

⑩
直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量
26,180
0,000 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬
t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭
t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪
t

数値は、
上段：前年度実績

(産業廃棄物の種類

がれき類

)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量	②	t
-----------------	---	---

自ら中間処理した後 再生利用する量	⑧	t
----------------------	---	---

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	③	t
-------------------------	---	---

排出量	①	t
	31,435	20,000

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	31,435 20,000
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	31,435 20,000
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量	④	t
---------------	---	---

自ら中間処理した 後の残さ	⑥	t
------------------	---	---

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑨	t
------------------------------------	---	---

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫	t
-----------------------	---	---

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬	t
------------------------	---	---

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	t
---	---	---

自ら中間処理によ り減量した量	⑦	t
--------------------	---	---

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	⑩	t
	31,435 20,000	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪	t
-----------------------------	---	---

(産業廃棄物の種類)

石綿含有廢棄物

不要物等発生量

⑧		自ら中間処理した後 再生利用する量

②	自ら直接 再生利用する量	t
---	-----------------	---

③	-----	t
---	-------	---

排出量	24.350	t
	18.000	

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	24,350 18,000
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	t
⑩全処理委託量	24,350 18,000
⑪優良認定処理業者への処理委託	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理した後の残さ	t
⑥	

自ら中間処理 する量	④	-----	t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑨	t
---	----------	----------

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	t
⑫	-----

⑦	t
---	---

④のうち熱回収 を行う量	t
	⑤

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	24,350	t
	18,000	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
--------------------	---

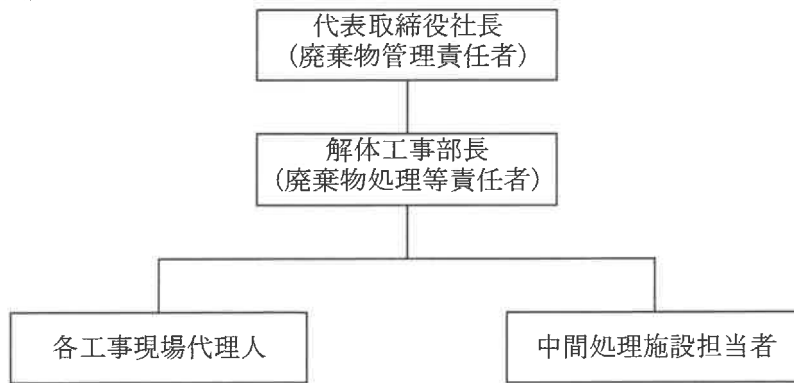
⑩のつち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1
-------------------------------	---

⑩のうち優良認定 処理業者への 如理委託量	111	111
-----------------------------	-----	-----

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別解体による再資源化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 分別解体を更に徹底、混合廃棄物の削減、再資源化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別解体の徹底
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①下請け業者へ分別の徹底を図るよう指導する ②現場での分別を徹底し、工場内で廃棄物を再度チェックし、 混合廃棄物の発生を抑える ③手作業による分別解体を促進し、最終処分量を抑制し、 リサイクル率を上げる

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら再生する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別解体の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現場から発生した木くず・がれき類（コンクリートガラ・アスファルトガラ）は、 自社での中間処理を行い、再利用する		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別解体の徹底		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別解体の徹底 優良認定処理業者・再生利用業者への処理委託を検討する 自社処理できる廃棄物は、処理委託を削減する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物

（ 単 位 ： t ）

種 類	処 理 方 法	2026年												年 間 合 計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
燃え殻	埋立	1,560	3,210	4,300		6,330		4,500	3,550	4,550	3,280	1,200	3,210	35,690	
	合計	1,560	3,210	4,300		6,330		4,500	3,550	4,550	3,280	1,200	3,210	35,690	
汚泥	焼却	4,310	4,520		4,600			4,280		4,470			4,440	26,620	
	合計	4,310	4,520		4,600			4,280		4,470			4,440	26,620	
廃油	焼却												0,220	0,220	
	合計												0,220	0,220	
廃プラスチック類	破砕	1,246	7,234	8,407	7,600	5,370	5,694	3,802	3,883	2,725	7,809	4,023	4,200	61,993	
	埋立		1,850											1,850	
	圧縮・梱包	13,200	14,630	12,190	11,975	12,203	22,177	28,056	11,169	25,493	10,192	12,684	17,836	191,805	
木くず	合計	14,446	23,714	20,597	19,575	17,573	27,871	31,858	15,052	28,218	18,001	16,707	22,036	255,648	
	破砕	14,870	12,800	7,530	12,190	6,950	5,640	11,385	16,310	10,590	104,770	19,830	33,700	256,565	
	合計	14,870	12,800	7,530	12,190	6,950	5,640	11,385	16,310	10,590	104,770	19,830	33,700	256,565	
繊維くず	破砕	0,920	0,150	2,310	0,630	2,580		2,980	2,320	0,850		2,610	3,450	18,800	
	合計	0,920	0,150	2,310	0,630	2,580		2,980	2,320	0,850		2,610	3,450	18,800	
	発酵堆肥	7,500	5,100	4,870	2,520	2,270	1,050	2,200	1,810	2,580	8,540		14,480	52,920	
動植物性残さ	合計	7,500	5,100	4,870	2,520	2,270	1,050	2,200	1,810	2,580	8,540		14,480	52,920	
	切断圧縮	0,170			0,450	1,470		3,080	0,380	3,426	2,466	1,790	5,464	18,696	
	合計	0,170			0,450	1,470		3,080	0,380	3,426	2,466	1,790	5,464	18,696	
ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず	破砕					30,190								30,190	
	埋立	6,600	13,250		3,327	13,810	7,500	16,370	8,900	9,090	724,920	2,322,610	21,270	3,147,647	
	合計	6,600	13,250		3,327	44,000	7,500	16,370	8,900	9,090	724,920	2,322,610	21,270	3,177,837	
がれき類	破砕	4,120	8,400	13,300	21,280	3,880	0,970	3,490	2,340	4,960	41,132	0,300	157,700	261,872	

(単 位 : t)

種 類	処 理 方 法	2025年												2026年				年 間 合 計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
がれき類	埋立				8.110		13.620		15.890			5.420							43.040
	合計	4.120	8.400	13.300	29.390	3.880	14.590	3.490	18.230	4.960	41.132	5.720	157.700						304.912
混合廃棄物 (安定型のみ)	埋立										0.800								0.800
	合計										0.800								0.800
石綿含有産業廃棄物	埋立				0.050	860.160						1.500	4.690						866.400
	合計				0.050	860.160						1.500	4.690						866.400
総合計		54.496	71.144	52.907	72.732	945.213	56.651	80.143	66.552	68.734	903.909	2,371.967	270.660						5,015.108

特別管理産業廃棄物

(単 位 : t)

種 類	処 理 方 法	2025年												2026年				年 間 合 計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
	合計																		
	総合計																		

産業廃棄物の処理施設における処分実績報告書【令和7年度】

産業廃棄物処理施設の種類の	処分した産業廃棄物の種類と年間処理量(単位 t)				処分後の産業廃棄物の処理量(単位 t)			
	廃プラスチック類	木くず	金属くず	がれき類	種類	排出量	処理方法	処理量
破砕処理(廃プラスチック類)	18.37				プラスチック破砕物	18.37	プラスチック原料	18.37
破砕処理(廃プラスチック類)	204.009				プラスチック破砕物	204.009	処理委託 (燃料・原料)	204.009
圧縮・梱包処理(廃プラスチック類)	196.332				プラスチックペール	196.332	処理委託 (燃料)	196.332
破砕処理(木くず)		1,455.79			木材チップ	1,455.79	燃料	1,455.79
切断圧縮処理(金属くず)			35.90		切断圧縮物	35.901	鉄鋼原料 非鉄原料	35.901
破砕処理(がれき類)				7,985.05	再生砕石	7,985.05	路盤材 (RC-40)	7,985.05
合計	418.71	1,455.79	35.90	7,985.05		9,895.44	0.00	9,895.44

令和7年度	PE 黒	PE 白(破)	PE 緑	PE 管	塩ビ グレー	塩ビ 色付き	二層管	PP	PP 青	PP 緑	PP オレンジ	PP 黒	PP コンテナ	混ざり トレ	PET	PET 白	PET キャップ
4月14日					1,640										580	340	
5月1日					1,050										760	930	
8月20日	460											830					
8月21日											1,500						
9月3日											1,590						
9月10日											1,540						
9月25日											1,790						
9月26日																	
10月24日																	
10月31日																	
11月4日							770		370								
12月8日					1,410												
12月11日	1,010																
12月17日																	
12月25日						320									650	330	
2月7日													550	390			
3月2日				770													
3月7日													1,030		850		
3月12日													470				
3月21日													480				
3月23日																	
合計	1,470	0	0	770	4,100	320	770	400	370	0	6,420	830	2,530	390	3,050	2,020	0
														kg			kg
														18,370			5,070